

Medical Management Specialist MMS NEWS

2014 10月号

発行/一般社団法人 日本医療経営実践協会 (JMMPA) 〒101-0033 東京都千代田区神田岩本町4-14 神田平成ビル7F 編集/日本医療企画 ●毎月1回発行

お問い合わせ先 一般社団法人 日本医療経営実践協会 事務局 TEL.03-5296-1933 FAX.03-5296-1934 http://www.JMMPA.jp/

第3回「全国医療経営士実践研究大会」京都大会

演題発表・論文発表者が続々エントリー！ 医療経営士の現場力をここから発信！

11月2、3日にメルパルク京都で開催される第3回「全国医療経営士実践研究大会」に向け、演題発表・論文発表を行う医療経営士のエントリーが相次いでいる。大会への期待が高まるなか、今号では演題発表・論文発表者とその概要について紹介する。

演題カテゴリーから見えてくる 医療経営士が抱える問題意識

「全国医療経営士実践研究大会」は医療経営士が現場での成果を発表して共有する場であり、参加者それぞれが得たものを自らの職場にフィードバックして実践し、全国の医療経営の現場を活性化させていくことを目的としている。そのため、医療経営士による演題発表は例年大きな注目を集めている。

本紙8月号では審査委員長を務める川淵孝一東京医科歯科大学大学院教授から「医療界に風穴を開ける医療経営士の登場を願う」という熱いメッセージをいただいたが、9月10日現在、表の通り9名の発表が確定している。具体的な内容については決まり次第協会のWebページで紹介していくが、演題カテゴリーを見ると「組織

管理/組織改革」を重視している方の多さが目立つ。病院のなかで医療経営士一人がいくら頑張っても、その活動が浸透していかなければ現場を変えていくことはできない。だからこそ、いかにして職場のなかの思いを波及させ、組織を動かしていくかは医療経営士にとって不可欠なテーマである。大会の発表を通して、参加する医療経営士一人ひとりが自らの組織を変えていくためのヒントを手に入れていただきたい。

発表を「点」で終わらせない 継続性を持たせることが重要

また、同号で川淵氏は「2回目、3回目の発表に挑戦する医療経営士に出てきてほしい」と述べていたが、その声に応えるように第1回大会以来2度目の発表となる小川輝史氏、唯一の3年連続発表者となる酒井利明氏がエントリーしている。前回の発表時からの進化が語られるのか、新たな試みについての発表となるのか、その内容を楽しみにしたい。さらに公立松任石川中央病院の森山聡子氏は、第2回大会で優秀

賞を受賞した高島愛氏と同じ職場ということ、病院としての取り組みに関する継続性を持った発表が期待される。演題発表が「点」で終わらず「線」としてつながっていくことは、医療経営士の価値を大きく高めていくことにつながるのではないだろうか。

論文発表についても3名の医療経営士がエントリーしている。発表論文は配布される大会抄録集に掲載される。限られた時間での演題発表では伝えきれないということでも論文での発表を選択するケースもあり、これまでの内容を論文が掲載されてきた。大会抄録集を手にした方にはぜひ何度も読み返していただき、新たな知見を身につけていただきたい。

「全国医療経営士実践研究大会」は医療経営士が現場での成果を発表して共有する場であり、参加者それぞれが得たものを自らの職場にフィードバックして実践し、全国の医療経営の現場を活性化させていくことを目的としている。そのため、医療経営士による演題発表は例年大きな注目を集めている。

本紙8月号では審査委員長を務める川淵孝一東京医科歯科大学大学院教授から「医療界に風穴を開ける医療経営士の登場を願う」という熱いメッセージをいただいたが、9月10日現在、表の通り9名の発表が確定している。具体的な内容については決まり次第協会のWebページで紹介していくが、演題カテゴリーを見ると「組織

また、同号で川淵氏は「2回目、3回目の発表に挑戦する医療経営士に出てきてほしい」と述べていたが、その声に応えるように第1回大会以来2度目の発表となる小川輝史氏、唯一の3年連続発表者となる酒井利明氏がエントリーしている。前回の発表時からの進化が語られるのか、新たな試みについての発表となるのか、その内容を楽しみにしたい。さらに公立松任石川中央病院の森山聡子氏は、第2回大会で優秀

賞を受賞した高島愛氏と同じ職場ということ、病院としての取り組みに関する継続性を持った発表が期待される。演題発表が「点」で終わらず「線」としてつながっていくことは、医療経営士の価値を大きく高めていくことにつながるのではないだろうか。

論文発表についても3名の医療経営士がエントリーしている。発表論文は配布される大会抄録集に掲載される。限られた時間での演題発表では伝えきれないということでも論文での発表を選択するケースもあり、これまでの内容を論文が掲載されてきた。大会抄録集を手にした方にはぜひ何度も読み返していただき、新たな知見を身につけていただきたい。

表 演題発表・論文発表者一覧 ※9月10日時点。内容等は一部変更する場合があります。(敬称略・発表者50音順)

Table with 3 columns: 発表形式, 発表者氏名, 発表のカテゴリー. Lists speakers like 安藤 未生, 小川 輝史, 酒井 利明, etc.

第3回 全国医療経営士実践研究大会 京都大会. 医療・介護に留まらない 地域をデザインする医療経営士. 2014年 11月2日(日)・3日(月・祝). 事前参加登録は お早め! 15,000円 (20,000円) ※2日間参加の場合 ※ () は、通常料金

MMS REPORT

長英一郎氏、多摩大学大学院で講座開講 医療経営をテーマに「10分間プレゼン大会」開催



めざせ、医療経営士1級合格！ 医療経営の現場で力を発揮するために 必須の論文作成力、プレゼン力を養成



プレゼンの持ち時間は1人10分。終了1分前と終了時にアラームが鳴る

第1回「医療経営士1級」資格認定試験(2013年実施)の合格者である長英一郎氏(東日本税理士法人副所長)は、本業以外にも、全国各地での講演会や書籍の執筆など、活躍の場を広げている。4月からは、多摩大学大学院の客員教授に就任し、「会計・診療報酬制度と医療経営」をテーマにした全8回の講座を担当。最終日となる8月13日には、履修者14名による「10分間プレゼン大会」を開催した。その模様をレポートする。

4月16日から4か月にわたり開講した本講座では、細かい専門知識の習得よりも、経営企画書などの作成に役立つ論文力、会議で効果的発表を行うためのプレゼン力を養うことに軸を置いた。医師、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカー、弁護士などが履修し、長氏の講義だけでなく、実際にプレゼンや論文作成を行い議

論する形式を取り入れた実践的授業が行われてきた。その集大成ともいえる今回の「10分間プレゼン大会」では、長氏のほか、石井富美氏(淀川キリスト教病院事業統括本部企画部部長)を審査員に迎え、14名のプレゼンを審査。すべてのプレゼン終了後に表彰式、講評を行った。実は本講座、「医療経営士1級」資格認定試験を意識して企画されており、試験対策の意味合いも強い。今回のプレゼン大会も、1級第二次試験の口頭試問(プレゼンテーション形式)を想定したもので、履修生には、2級合格者1名、3級合格者2名が含まれている。

審査の視点は、「有料セミナーの講師として話ができるか」。審査基準は表1の通りで、審査員の採点で順位を競う。履修者の職種がさまざまであることから、発表テーマも実に多彩なものとなった(表2)。

今回の発表で印象深かったのは、発表者の時間に対する意識の高さである。10分という限られた時間であったが、オーバーする発表者はほとんどなく、短時間でわかりやすく伝えようとする努力が感じられた。また、大きなテーマを自院や自身の仕事に落とし込み、身近な問題として論じることで、課題や方向性を明確化したプレゼンが多く見られた。

審査の結果、見事、1位になった梶山大介氏(医療法人柏成会青木病院)は、本講座参加の意義について「ここで学んだ内容が、実際の病院経営に役立っていることを実感している。医療経営に熱い思いを持った人たちと出会えたことも、自身のやる気につながった」と語った。

今後、本講座の卒業生から医療経営士1級合格者が出ることを期待したい。

表1 主な審査基準

- ①資料:視覚的に見やすいか?
 - ②間・空気:必要に応じて間を取っているか? 会場の空気に応じて話題を変えているか?
 - ③新規性:トピックが織り込まれているか?
 - ④独創性:なるほどと思わせる内容か?
 - ⑤時間:10分を超過していないか? 早めに終わらせていないか? など
- *各項目5点、審査員1人当たり25点満点

表2 発表内容一覧

- 1 「非営利ホールディングカンパニー型法人」による病院の経営統合とHFN構想に基づいた地域包括ケアシステム(3位)
 - 2 健康保険組合の課題
 - 3 看護師の人員費率と採用の実際(3位)
 - 4 医療経営とは?—物語のシナリオを描く(1位)
 - 5 持分なし医療法人への移行促進
 - 6 病院経営改善の「これまで」と「これから」
 - 7 医療機関と民事再生(2位)
 - 8 医療安全のコストをどう考えるか——経営視点からの考察
 - 9 医療経営と社会福祉と私——急性期MSWの地域医療連携の実践から
 - 10 薬剤師の不足について
 - 11 抗菌薬の適正使用から経営を見る
 - 12 医療ITの現状と未来
 - 13 絆マーケティングで経営状況は改善するか?
 - 14 医療経営
- *発表順。()は審査順位



長氏は梶山氏のプレゼンについて「自院を客観的に分析し、独自性の高い内容だった点を評価した。聞き取りやすく、スライドもシンプルでわかりやすかった」と評した(長教授写真真奥、梶山氏写真手前)

支部NEWS

中国支部

梶原 四郎氏
日本医療経営実践協会中国支部支部長
医療法人清風会理事長

支部長インタビュー

常に現状に疑問を持ち、オープンに議論できる 医療経営士の育成をめざす

7月1日、日本医療経営実践協会中国支部が発足しました。設立記念パーティーには、本部理事や同支部理事のほか、多くの医療経営士の皆様にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。多くの方が初対面にもかかわらず、医療経営について熱く談義されているのを拝見し、大変心強く感じました。

さて、医療経営の歴史を振り返りますと、かつては経営を充分に知らない医師が“どんぶり勘定”でやってきたと言えます。しかし、それも限界で、経営感覚を持った人材が力を発揮する時代になっていると感じています。

当法人について少し紹介させていただきますと、継続的な医療の提供には経営が欠かせないという考えから、従来の「医経分離」からさらに考えを進めた「医経合体」の考え方で、管理本部による法人経営を行っています。一方で、現場にも経営感覚を身につけるよう徹底し、「医療の質を担保しつつ、経営効率を上げる人材」を育てることを意識しています。近い将来、医師でなくても理事長になれる時代がやってきます。特に管理本部スタッフには、「将来、理事長をめざすように」と激励し、常に経営感覚を磨くよう指導しています。

医療経営士には、広い視野と自分の考えを述べられる力を身につけてほしいと期待しています。社会情勢を冷静に把握し、「これからの医療はこういう方向に進む。だから、こういう戦略をとるべきだ」など、自分の考えを述べられる人に

なってほしい。また、常に現状に疑問を持ち、どうすればよい方向に変えていけるのか、改革の意識を持ち続けることも重要です。そして、地域にどのような医療が必要かを提案し、地域を変えていける人になってほしいと願っています。

私は、小規模病院の乱立が、継続的、効率的な地域医療の提供を妨げていると感じています。各理事長が「わが病院」と善悪的な感覚で自院のことだけを考えるのはやめ、公の意識を持たなければいけないと考えています。民間病院は、社会インフラを維持していくという感覚を持ち、この地域でどのような医療が必要とされているのかを考えていかなければいけないと思います。

地域のとらえ方も、行政圏ではなく生活圏で考える視点が大切です。当法人は、脳神経外科を中心に救急医療を提供しており、同一生活圏内の医療機関に、救急患者受け入れ時の協力関係の構築を呼びかけています。各医療機関の担当医師の孤軍奮闘に依存する体制は限界にきており、医師の生活を守りつつ、地域全体の向上も図っていく時期にきていると思うからです。この呼びかけに抵抗感を持つ医療機関もありますが、粘り強く取り組みを続けたいと思います。医療経営士にも、地域全体を見て考え、必要な医療の提案ができる人になってほしいと思います。

医療機関の協力関係の強化や地域の活性化のために、スポーツの世界と同様に職員のフリーエージェントやトレードも取り入れていくと

面白いと考えています。医療機関の関係がオープンになれば、一旦トレードに出して、また戻ってくるなど、働き方の自由度が上がります。職員一人ひとりにとってよい人生とは何かを考えるきっかけにもなるでしょう。医療経営士の交流により門戸が開き、活躍の場が広がることを期待しています。

また、グローバル化についても意識してほしいと思います。日本にも押し寄せてくる国際化をどう受け止めるか。想定されるデメリットをどのように解決していくか、力が試されると思います。視野の広い人材を育成していくために、シンガポールやバンコクなど、国際化が進んでいる医療機関への視察ツアーなども企画していけると面白いですね。

これから研究会活動も開始していきますが、講師の話聞くだけの会ではなく、自身の課題を見つけ、オープンに議論することを大切にしたいと思います。医療経営士の皆様からの研究テーマのご提案を期待しています。

当支部は、地域医療に少しでも貢献できるよう、医療経営士の研鑽の場として、努力してまいります。



梶原 四郎氏



医療経営士にぜひ読んでほしい おすすめの本

組織を維持、発展させるための基本原理、マネジメントの本質を知る!

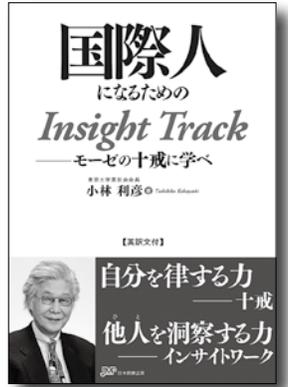
本協会・代表理事代行の小林利彦理事が、『国際人になるためのInsight Track —モーゼの十戒に学ぶ』(日本医療企画刊)を上梓しました。国際的な製薬企業等で要職を務めた小林理事が、多くの国際人との出会いやさまざまな経験を通して得た真理を、余すところなく語る魂のエッセイです。人間と社会を幸福に導くための基本原理を明らかにするなかで、社会人としてのあり方、医療経営士としての使命、マネジメントの本質が詳らになります。

今回は、本書のエッセンスをご紹介します。

「十戒」を守っていれば、組織や社会は上手に行く、少なくとも悪い方向に進むことはない」と、小林理事は指摘します。

企業・組織の不祥事、組織人による事件・事故が、日々、巷間を賑わせています。企業倫理や社会性、人間性の欠如がとかく問われる現代社会に対して、小林理事は、「十戒」を柱に、類まれな経験や多くの人々との出会いの

国際人になるための Insight Track —モーゼの十戒に学ぶ



小林 利彦 著

- A5判並製 / 本文272頁
- 定価:1,500円+税
- 英訳文付
- 著者略歴

小林 利彦(こばやしりつこ)

日本医療経営実践協会 代表理事代行
東京大学(薬)卒業(1961年)。オーストラリア国立大学大学院(博士:医化学、1970年)。三菱時代(1971~1985年)、米国製薬トップ10会社(アップジョン社・E. リリー社)時代(1986~2001年)、米国研究製薬工業協会(PhRMA)ワシントンDC、2001~2012年時代、そして国際純正応用化学連合(英オックスフォード、1973年~現在)、アジア医薬化学連合(1992年~現在)。現在、東京大学赤門学友会顧問、東京大学薬友会会長、米国シリコンバレー バイオベンチャーの顧問など。

自分を律する力

紀元前1250年、モーゼは虐げられていたユダヤの民200万人を連れてエジプトを出ます。以後40年あまり、モーゼとユダヤの民は荒野を彷徨いつづけます。約束の地カナンをめざして……。

エピソードを交えながら、自身を律することの大切さ、組織が組織を律することの意義を語ります。

他人を洞察する力

同僚、上司、取引先、顧客(患者)等、日常の業務は、人々との繋がりのなかで展開していきます。コミュニケーションは、言葉(口)だけによるものではありません。人によっては、目で語り、目で理解する人もいます。そのタイプを見極めることの重要性を、小林理事は他人を洞察する力として最初に唱えます。

国際人に学ぶマネジメントの極意

小林理事は、米国アップジョン社やイーライリリー社などの国際的企業で要職を務められました。ビジネスで出会った多くのエグゼクティブ、アカデミアの人々のなかには、ユダヤ系が多く、彼らとのビジネス、親交を深めるなかで、彼らを真に理解するためには、彼らの文化をはじめとするその背景を知らなければならぬと考えたそうです。

医療経営士必携! 医療・介護の最新動向を俯瞰できる数値データを網羅!!

医療経営データ集 2014

●監修・編集
日本政策投資銀行ヘルスケア室
日本経済研究所医療福祉部

●仕様
定価(本体2800円+税) → 会員価格2,410円(税込)
A4判・並製 280頁 本文2色



巻頭特集 診療報酬改定と地域医療の課題

- 1 平成26年度診療報酬改定
- 2 近年の医療需給動向の都道府県別推移
- 3 在宅医療と在宅介護の状況

第1章 医療を取り巻く環境の現状分析

- 1 施設動向
- 2 経営動向

第2章 病院経営に関する現状分析

- 1 運営費動向
- 2 建設投資動向及び資金調達動向
- 3 医師・看護師の確保 ほか

第3章 病院経営に関するトピックス

- 1 病院経営改善の取組事例
- 2 今後の患者数推移
- 3 地域医療連携の状況 ほか

協会事務局からのお知らせ

**第2回「医療経営士1級」資格認定試験
第一次試験が終了!**
協会活動を支える法人正会員を募集中!

9月7日(日)に、第2回「医療経営士1級」資格認定試験の第一次試験が実施されました。19名の申込者全員が受験し、10月31日(金)の合格発表を待つことになります。

受験者数としては前回の18名に対して1名増えた程度の違いですが、受験者の「職業別構成」に大きな違いがみられました。前回は全体の約8割が病医院勤務者だったのですが、今回は医療機関外の方が、全体の約4割を占めているのです。

1級試験には、第二次試験に合格しても「資格認定審査要件」を満たしていない場合、1級認定されないという条件があります。医療機関に従事されている方を前提としているわけですが、結果として医療機関外の受験者が多かったことは意外でした。

前回の試験では、第一次試験で合格者の6割強が、第二次試験では7割強が医療機関に従事されている方でした。医療機関外の方の奮闘を期待します。

さて、本協会では、「法人正会員」を積極的に募集しています。

「法人正会員」とは、病院・企業などで組織一丸となって「医療経営士」の育成に取り組み、協会活動を支える会員制度です。「医療経営士」資格取得後の実践能力を養うための研究会活動などへの参加や講演者の派遣、協会との意見交換などによる「医療経営士」資格認定制度の強化・改善のための取り組みとして、法人正会員制度の拡充に力を入れています。

法人正会員には、医療機関、教育、研究機関などの法人からなる「法人正会員A」、「法人正会員A」以外の企業・団体などの法人からなる「法人正会員B」、そして「医療経営士1、2、3級」の認定登録者を有する医療機関・企業・団体などの法人からなる「法人正会員C」の3種類があり、それぞれ本協会主催セミナーの参加割引、各種研究会の参加の案内、医療経営士の登録料および年会費の無料(法人正会員A/B)、協会推薦図書の特典購入、協会発行「MMSニュース」(本紙)の購読、医療経営士情報誌「理論と実践」(季刊・年4回)の購読、協会主催セミナー等への支援活動、協会発行物への広告掲載割引、講師派遣、教育支援(実費)、医療経営コンサルティングなどの特典を得られます。

各法人正会員の登録料、年会費は協会Webページにてご確認ください。

なお、9月15日現在の法人会員は、法人正会員Aが医療法人社団平部会、法人正会員Cが株式会社エスアールエル、日本赤十字社岐阜赤十字病院、株式会社ソラスト、独立行政法人国立病院機構栃木医療センター、株式会社日医リース、東日本税理士法人、株式会社メディカル・ステージ(五十音順)で、医療機関の入会も増えています。入会に関する詳細は協会事務局までお問い合わせください。

それではまた次号でお会いいたしましょう。

**第2回「医療経営士1級」
第一次試験が終了**

第2回「医療経営士1級」資格認定試験の第一次試験が9月7日(日)に東京都内で開催された。当日は全国から19名の受験者が、午前の「短文記述形式」試験と午後の「論文記述形式」試験に臨んだ。

第一次試験の合格発表は10月31日(金)。合

日本医療経営実践協会

**NEWS &
TOPICS**

格者は11月30日(日)の第二次試験(面接試験・口頭試験)に進むことになる。

**第3回全国医療経営士
実践研究会京都大会
参加登録の締め切り間近**

本協会では、本年11月2日(日)、3日(月・祝)の2日間(わたり、京都にて開催する第3回「全国医療経営士実践研究会」京都大会の参加登録および演題・論文発表登録を受け付けている。

事前参加登録の締め切りは10月3日(金)。

◆主催…一般社団法人日本医療経営実践協会
◆大会運営委員長…清水

水鴻一郎(日本医療経営実践協会関西支部支部長、医療法人清水会理事長)

◆会期…11月2日(日)・3日(月・祝)

◆会場…メルパルク京都

**更新対象者ならびに
年会費納入対象者の
期限延長措置について**

本年9月14日(日)に認定期間の満了を迎えた会員の更新申請受付を終了したが、更新意思のある会員に対して延長措置を行っている。

◆更新対象者ならびに年会費納入対象者の期限延長措置について

本年9月14日(日)に認定期間の満了を迎えた会員の更新申請受付を終了したが、更新意思のある会員に対して延長措置を行っている。

◆更新対象者ならびに年会費納入対象者の期限延長措置について

また、同じく本年9月14日(日)で年会費が期限となった会員の年会費支払期限を迎えたが、継続意思のある会員に対して支払期限の延長措置を行っている。

◆更新対象者ならびに年会費納入対象者の期限延長措置について

延長措置を希望する更新対象者ならびに年会費納入対象者は、協会事務局まで連絡いただきたい。

**来年1月期限の
医療経営士資格更新申請
10月6日に受付開始**

医療経営士認定者の3年に1度の更新申請が、10月6日(月)から書類受付を開始する。更新対象者にはすでに

**配布用のMMSニュースを
無料でお送りいたします!**

会員サービスの一環として毎月発行している本紙MMSニュースを活用して、「医療経営士」の認知度アップにご協力くださる会員様を募集しております。職場やお取引先へMMSニュースをお配りいただくことで、ご自身の活動のアピール資料としても、ご活用いただけると思います。

配布用のMMSニュースをご希望の方は、下記のアドレスへ「MMSニュース希望」とタイトルをつけ、認定登録番号、お名前、御社名、所属部署、肩書き、送付先住所、電話番号、そして必要部数をご連絡ください(ご希望の部数につきましては、ご連絡をいただいた段階で調整させていただきます)。

皆様のご応募をお待ちしております!
お申し込み▶E-mail info@jmmpa.jp

封書で案内を送付している。

◆更新書類締切
12月5日(金) 必着
前記期限内に更新手続きを終了した会員には、来年1月中旬に新たな認定証が発行される。

◆更新書類締切
12月5日(金) 必着
前記期限内に更新手続きを終了した会員には、来年1月中旬に新たな認定証が発行される。

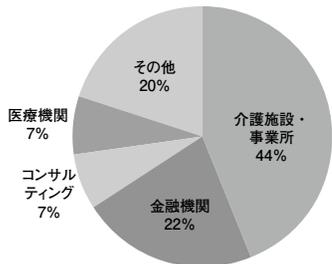
地域包括ケア時代のキーパーソン

「介護福祉経営士」資格認定試験のご案内

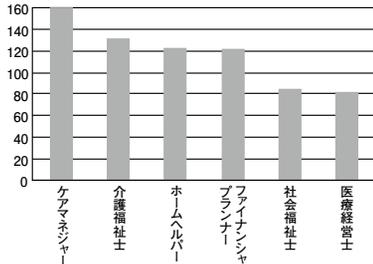
— 介護の魅力と価値を高めるのはあなたです —

成長産業として注目を集める介護福祉業界で、2013年に誕生した「介護福祉経営士」。過去4回で599名が合格しました。そのうち金融機関・医療機関勤務者が約3割を占め、さらに、医療経営士とのダブルライセンス取得者は試験を重ねるごとに増え、現在81人が活躍しています。あなたも、医療経営と介護経営の双方に明るい人材となって、活躍の場を広げませんか?

合格者の職業別構成(過去4回の試験の累計)



合格者の保有資格別構成 ※重複あり



2014年試験日程

第5回 2級 11月16日(日)
第1回 1級

※「介護福祉経営士1級」は、同2級の資格認定を受けていることが受験要件となります。

第5回 2級・第1回 1級
受験申込締切
10月28日(火)まで